

Ⅱ 重点事項（北上市地域福祉活動計画 基本目標）の活動状況

基本目標1 地域福祉を担う人づくり

- ふれあい20歳のつどい（旧：福祉成人祝賀会）は、成年年齢の引き下げに伴い名称を改め、心身に障がいを持つ20歳の方を対象にお祝いのつどいを開催しました。
- 敬老会事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催方法を選択する形で行いました。なお、昨年度は全地区で中止とした飲食を伴う実施形式についても、地区の選択により実施可能としました。
- 新たな取り組みとして若い世代との懇談会を開催し、地域の福祉課題等について意見交換等を行いました。
- 福祉協力員は、新型コロナウイルス感染症が懸念される中での活動となりましたが、コロナ禍により外出や交流の機会が減少した高齢者等に対する訪問活動等を行い、孤独感の解消やフレイル（運動や認知機能の低下）予防に努めました。

(1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 きたかみ社協だより発行事業 (1) きたかみ社協だより ① 発行回数：4回 （発行月：4月、7月、9月、2月の第4週金曜日に発行） ② 発行部数：153,582部 （1回 約38,400部）	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓発を図りました。また、特集記事を掲載するなど紙面の構成を工夫し作成・発行しました。 なお、昨年度から市の広報発行回数の変更にあわせて社協だよりも発行回数を減回しており、掲載する情報量等に制限が生じていますが、ホームページやFacebookページを有効に活用し可能な限り補完しています。 【指標】 広報発行 年4回
(2) ボランティア通信 ① 発行回数：2回（社協だよりに折込み） ② 発行部数：76,732部 （1回 約38,400部）	ボランティアに関する情報を収集し、「ボランティアみみより情報」として全世帯に配布し、ボランティア活動に関する意識の啓発を図りました。
(3) ホームページ等の運営、管理 ① ホームページアクセス数：19,898回 ② Facebookページアクセス数：2,413回	時機にあった情報提供・発信をするため、「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページ及びFacebookページを活用し、効果的・多角的な情報発信を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 市民福祉大会 (1) 第31回北上市民福祉大会 ① 期 日：4年11月22日（火） ② 会 場：さくらホール（大ホール） ③ 参加者：330名 ④ 表 彰：18名 ・社会福祉事業功労者 7名 ・社会福祉奉仕功労者 4名 ・共同募金運動功労者 3名 ・褒賞（在宅介護者） 3名 ・褒賞（自立更生） 1名 ⑤ 記念講演 演題：「コロナ禍における新たな生活課題～生活困窮者支援の現場から見えること～」 講師：特定非営利活動法人ほっとプラス理事 聖学院大学客員教授 藤田 孝典 氏 ⑥ オープニングステージ ・社会福祉法人しらゆり会 相去保育園「こども鬼剣舞」 ⑦ 出店販売 あけぼの、しらゆり工房、とばせ園、萩の江、北萩寮、ワークステーションきたかみ	支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更なる努力を誓い合い、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。 新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き規模を縮小しての開催となりましたが、講演等を通じ地域共生社会の実現に向けて関係者の共通理解を図ることができました。 【指標】参加者900名
(2) 第75回岩手県社会福祉大会 ① 期 日：4年10月28日（金） ② 会 場：岩手県民会館（大ホール） ③ 表 彰：13名（北上市分）※1名重複 ・岩手県知事表彰 民生委員・児童委員 2名 ・岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 民生委員・児童委員 5名 永年勤続功労者 民間社会福祉施設役職員等 4名 ・岩手県社会福祉大会長褒賞 在宅介護者 1名 ・岩手県民生委員児童委員協議会長表彰 永年勤続民生委員・児童委員 1名 永年勤続民協会長・副会長 1名	県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。 なお、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての開催となり、当市関係者の参加も少数としました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 ふれあい20歳のつどい(旧:福祉成人祝賀会) ① 期 日：5年1月8日(日) ② 会 場：ホテルシティプラザ北上 ③ 参加者：52名(うち新成人7名、家族10名) ④ 内 容：記念写真撮影、式典 クラリネット演奏	心身に障がいを持つ20歳の方とその家族を対象に、節目のお祝いと今後の活躍を祈念し式典を実施しました。 また、令和4年4月に成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、事業の名称を変更しました。 なお、新型コロナウイルス感染症対策として式典のみ行い、参集者など規模を縮小しての実施となりましたが、祝意が伝わるよう進行を工夫して行いました。 【指標】出席率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 敬老会事業への支援【市交付金事業】 ① 実施箇所数：63地区 ・通常開催(式典等実施) 6地区 ・記念品配付 57地区 ② 該当者：14,085名	新型コロナウイルス感染症対策により、地域の実情にあわせて開催方法を選択する形で行いました。また、例年同様、北上市の交付金に加え、当協議会からも助成金を交付し、実施を支援しました。 なお、市において実施した敬老会に関するアンケート調査結果をもとに、今後の敬老会の方向性等について、市と協議を行いました。 【指標】出席率30%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 地域福祉懇談会 (1) 地域福祉懇談会 ① 期 間：4年7月1日から7月14日 ② 参加人数：216名 ③ 実施箇所：6カ所(支部別参加人数) ・黒沢尻東 33名 ・更 木 28名 ・稲 瀬 24名 ・相 去 35名 ・江 釣 子 54名 ・和 賀 42名 (2) 北上青年会議所との懇談会 ① 第1回 ・期 日：4年8月19日(金) ・会 場：スパットビル3階 ・参加者：12名(青年会議所4名、社協8名) ・内 容：情報及び意見交換 「地域福祉懇談会や北上市地域福祉活動計画中間検証アンケート結果から見える地域福祉の課題について」 「北上市や自分の住む地域の福祉・生活課題について」 「お互いの活動に期待すること」	今年度は希望する支部(地区)での開催とし、懇談会の内容を地域の課題や地域が希望するテーマで意見交換を行いました。 特にも福祉に携わる担い手の確保について、地域の支援者の再確認、若年層の福祉活動等に対する意識の醸成や企業へのアプローチ等、課題を解決するための方法や方向性を確認するとともに、今後の福祉活動を推進する上で参考となる情報や意見交換を行うことができました。 また、福祉関係者以外の方や若い世代の方と意見交換を行うことを目的に、北上青年会議所と懇談会を行い、担い手の確保や若い世代の地域福祉活動への参加など、今後当協議会で取り組むべき課題や解決に向けた方向性等を意見交換することができました。 今後も、幅広い市民の方々から意見を聴取できるよう、若い世代との懇談会を実施します。 【指標】参加者700名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
② 第2回 ・期 日：5年3月3日（金） ・会 場：スパットビル3階 ・参加者：11名（青年会議所5名、社協6名） ・内 容：情報・意見交換 「地域づくり・まちづくりと一体となった地域福祉力の向上について」	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 あいさつ運動推進事業 ① 黒沢尻北地区 実施期間：4年4月1日～5月31日 のぼり旗設置：6カ所（公民館） ポスター掲示：6枚（公民館） チラシ配布：5,500枚（全戸配布） ② 黒沢尻東地区 実施期間：4年4月7日～4月28日 のぼり旗設置：13カ所（通学路、公民館等） ポスター掲示：50枚（行政区掲示板、公民館等） チラシ配布：370枚（地区内回覧） ③ 黒沢尻西地区 実施期間：4年4月7日～4月28日 のぼり旗設置：29カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：5枚（行政区掲示板、公民館等） チラシ配布：380枚（地区内回覧） ④ 立花地区 実施期間：4年4月1日～4月15日 のぼり旗設置：10カ所（主要道路等） ポスター掲示：10枚（交流センター、公民館等） チラシ配布：66枚（地区内回覧） ⑤ 二子地区 実施期間：4年4月27日～5月31日 のぼり旗設置：7カ所（交流センター、小学校等） ポスター掲示：33枚（自治会掲示板、小学校等） チラシ配布：1,116枚（全戸配布） ⑥ 更木地区 実施期間：4年4月7日～5月6日 のぼり旗設置：8カ所（主要道路、小学校等） ポスター掲示：6枚（自治会掲示板等） チラシ配布：40枚（地区内回覧） ⑦ 黒岩地区 実施期間：4年4月6日～4月25日	地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に“あいさつ”を行う強化月間を設定し、隣近所との助け合い精神を醸成しました。 また、運動を推進するために必要な資機材（のぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター）を準備し、取組地区をはじめ、市民に対する意識啓発を図りました。 昨年度まで未実施の地区には、地域の既存の取組みと併せて実施する方法等を提案し、取組地区を拡大することができました。 【指標】取組地区12カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
のぼり旗設置：5カ所（通学路等） ポスター掲示：21枚（交流センター、公民館等） チラシ配布：320枚（地区内回覧） ⑧ 口内地区 実施期間：4年4月4日～5月30日 のぼり旗設置：1カ所（交流センター） ポスター掲示：9枚（公民館等） チラシ配布：70枚（地区内回覧） ⑨ 稲瀬地区 実施期間：4年4月25日～5月24日 のぼり旗設置：13カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：12枚（公民館等） チラシ配布：249枚（全戸配布） ⑩ 相去地区 実施期間：4年4月5日～5月31日 のぼり旗設置：8カ所（主要道路、中学校前等） ポスター掲示：2枚（交流センター等） チラシ配布：7枚（地区内回覧） ⑪ 鬼柳地区 実施期間：4年4月7日～5月31日 のぼり旗設置：15カ所（交流センター等） ポスター掲示：1枚（交流センター） チラシ配布：112枚（地区内回覧） ⑫ 江釣子地区 実施期間：4年4月6日～5月6日 のぼり旗設置：10カ所（交流センター、通学路等） ポスター掲示：1カ所（支部事務室） チラシ配布：327枚（地区内回覧） ⑬ 和賀地区 実施期間：4年4月7日～5月12日 のぼり旗設置：10カ所（交流センター、公民館） ポスター掲示：10枚（交流センター、公民館）	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 社協出前講座（講師派遣事業） ① 派遣回数：7回 ・小学校：1回 ・一般：6回 ② 参加人数：延べ268名 ③ メニュー登録数：11（北上市出前講座登録数）	地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、福祉に関する学習や研修の支援を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、依頼件数は減少傾向にありますが、市民等からの依頼は増加し、成年後見制度やコミュニティソーシャルワーカーの活動に対する理解が図られました。 【指標】派遣20カ所、参加人数延500名

- (2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ボランティア講座 (1) ボランティア発見講座【基礎編】 ① 期 日：4年7月23日(土) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：13名(高校生11名、中学生2名) ④ 内 容：ボランティア活動についての講話、キャップハンディ体験、活動紹介、ワークショップ (2) ボランティア発見講座【実践編】 ① 期 日：4年8月4日(木)～8月28日(日) ② 会場等：北上市総合福祉センター、放課後等デイサービス事業所リトルグラス、北上総合運動公園、広瀬川周辺 ③ 参加者：15名(高校生11名、中学生4名) ④ 内 容：配食サービス事業配送ボランティア同行、放課後等デイサービスでの余暇活動の支援、きたかみ絆ハーフ&リレーマラソン運営補助、河川清掃 (3) ボランティア活動応援講座 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	福祉やボランティアに関する知識と関心を深め福祉意識の向上を図り、「支え合い」の心を育むことを目的として、学生向けの講座を開催しました。 ボランティア発見講座の基礎編では、学生を対象にボランティア活動についての講話やボランティア活動者等による活動紹介、ボランティア活動を考えるワークショップを実施し、福祉やボランティア活動に対する理解を深めました。また、キャップハンディ体験を通して、障がい者に対する接し方等を学びました。 実践編では、市内のボランティア団体等が募集する活動の中から、参加者が希望する活動を選択し、自主的にボランティア活動を行いました。 なお、一般向けに開催予定としていた「ボランティア活動応援講座」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 【指標】参加者数 中高生50名、一般50名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 福祉協力員活動事業(住民グループ支援事業) 【市委託事業(一部)】 (1) 委員会 第1回 ① 期 日：4年4月21日(木) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：10名 ④ 内 容： ・3年度事業報告及び収支決算について ・4年度事業計画及び収支予算について ・4年度総会及び全体研修会について 第2回 ① 期 日：5年3月17日(金) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：13名	新型コロナウイルス感染症が拡大する中での活動ではありましたが、地域福祉活動の推進役として要援護者に対する見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や福祉に関する情報提供に努めました。 また、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。 【指標】充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
④ 内 容： ・ 4年度事業報告及び収支決算について ・ 5年度事業計画及び収支予算について ・ 5年度総会及び全体研修会について (2) 総会 ① 期 日：書面審議 ② 出席者：301名（334名中） ③ 内 容： ・ 3年度事業報告及び収支決算について ・ 4年度事業計画及び収支予算について (3) 全体研修会及び役員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (4) 訪問活動 ① 福祉協力員数：334名 ② 活動回数：延べ87,367回 ※詳細はP34参照	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 ボランティア活動センター事業 (1) 運営委員会の開催 ① 期 日：4年10月3日（月）13名出席 5年3月14日（月）11名出席 (2) ボランティア登録者数：156名（個人）	新型コロナウイルス感染症対策により、各種ボランティア活動に制限がある状況でしたが、ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、当協議会で行っているボランティア活動や団体のボランティア活動に関する情報提供を行い、マッチング及び登録の推進を図りました。 【指標】ボランティア活動実践者個人200名
(3) ボランティア保険 ① 加入者数：3,141名 ② 事故件数：0件	ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進しました。 なお、ボランティア活動中の事故はありませんでした。
(4) ボランタリー活動情報ボード事業 ① 掲示登録団体：10団体 ② 掲示依頼枚数：2枚	情報ボード（さくらホール、生涯学習センター、総合福祉センター）を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。
(5) 日曜大工ボランティア 活動：0件（申請依頼0件）	一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等に対するボランティア派遣ですが、活動件数はありませんでした。 技術を持つボランティアの確保に努め、必要な方に支援ができるよう事業の周知を行います。
(6) 企業等の地域貢献活動との連携 ① 東北緑生(株)による庭木の剪定活動 実施世帯 4世帯 ② (株)丸片ガスによる福祉施設の清掃活動 実施施設 1施設	企業からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行いました。 また、黒沢尻工業高校機械科生徒による課題研究や岩手県立大学学生による創造実践演習の取組

事業名、内容及び実績	成果や課題等
③ スリーエムジャパンプロダクツ(株)岩手事業所による保育施設の環境整備 実施施設 3施設 ④ 黒沢尻工業高校課題研究への協力 保育施設の遊具修繕活動 3施設 ⑤ 岩手県立大学創造実践演習への協力 岩沢地区での除雪活動 4世帯 ⑥ 企業からの相談に対する情報提供 4件	みに対して、活動の周知や参加者の募集等を協力しました。 【指標】 企業との連携6社
(7) ボランティア登録者研修会 ① 期 日：5年2月22日(金) ② 会 場：さくらホール(大ホール) ③ 参加者：360名 ④ 講 演： 演題：「『不登校・ひきこもり』について考えてほしいこと～当事者経験や相談支援の現場から～」 講師：ヒューマン・スタジオ 代表 丸山 康彦 氏 ⑤ トークセッション： 登壇者：ヒューマン・スタジオ 代表 丸山 康彦 氏 NPO法人ワーカーズコープ 北上笑いのたね事業所 所長 後藤 誠子 氏	ボランティア活動センター登録ボランティア等を対象に、ともに支え合う地域社会づくりの推進を図ることを目的に開催しました。 講師の体験談を通じて、ひきこもりや不登校について参加者に理解を深めていただくことができたとともに、研修会後、居場所の利用につながった方もおり、市内にある社会資源について知っていただく機会にもなりました。 ※ふれあいデイサービス事業、ふれあいのまちづくり事業、福祉協力員協議会事業、生活困窮自立支援事業及びひきこもりサポート事業と合同で実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 福祉人材R e スタート事業 ※募集したが応募者がなかった。 ※改めて実施を検討したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	ホームヘルパー等の資格があり、結婚や出産、介護や育児等のために離職した方を対象に、現行制度の説明や居宅実習を行い、介護技術の振返りなど再就職に向けた講座を開催予定でしたが、応募がなく、また、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 北上市社会福祉法人連絡会分科会との連携により、福祉人材の育成や確保等について研究します。 【指標】 年1回実施

(3) 子供のころからの福祉教育を大切にし、各関係機関と連携強化のうえ、子供たちに福祉について“ふれる”機会を増やす

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ハウスクリーニング☆プロジェクト ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	子ども達が夏休みや休日を利用し、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者世帯を訪問して家の清掃ボランティア活動を行い、活動を通して、訪問先の方や参加者同士の世代交流を深める

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	ことを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】実施12地区

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 いきいきショップ☆ゆめいちば 打合せ会 ① 開催日：4年7月4日(月) ② 出席者：7名(障がい福祉サービス事業所4名、高校1名、社協2名) ③ 内 容：令和4年度事業の実施について 今後の事業のあり方について	障がい者施設への訪問による事前交流や障がい者施設で作られている商品の販売を高校生と施設利用者が一緒に行い、お互いの理解を深めることを目的として実施しています。 市内障がい福祉事業所職員及び高校担当教員と打合せ会を行い、事業内容や今後の事業のあり方について協議を行い、今年度は施設交流学习をボランティア発見講座「実践編」のプログラムとして実施、販売交流学习は中止しました。 なお、障がい者施設等との意見交換の結果や、各種イベントによる商品販路の拡大、ハートフルショップまごころの定着化により、当事業は今年度をもって終了しました。 【指標】実施 年1回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 車いす修理ボランティア事業 ① 車いす修理ボランティア実施校： 黒沢尻工業高校 ② 修理車いす台数：9台	黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉やボランティア活動について理解を深めることができました。 なお、生徒の整備・修理技術の向上を図るために開催している技術講習会（岩手県社会福祉協議会主催）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 【指標】修理台数10台

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 児童・生徒のボランティア活動に係る情報交換 ① アンケート調査の実施 ② 対象：市内小学校・中学校・高校 32校	市内の全小学校から高校を対象に、各学校で行っている福祉教育やボランティア活動の取組み、取組みの課題等を把握するためアンケート調査を実施しました。 アンケート調査の結果から見えてきた課題等を検証し、福祉教育等の更なる推進及び支援につなげます。 【指標】アンケート調査実施

基本目標 2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 小地域ネットワーク活動では、北上市が実施している地域除排雪制度と連携し、一人暮らし高齢者世帯等、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域の協力をいただきながら除雪活動を推進し、生活支援を行いました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業及び生活支援コーディネーター活動事業では、関係機関との会議等を通じて情報収集・共有を図り、アウトリーチ活動の強化を意識して地域・支部訪問等を行いました。
- 生活支援コーディネーター活動事業では、新たな地域資源の立上げ支援等を行いました。

(1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等がSOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいのまちづくり事業及び地域住民グループ支援事業(小地域ネットワーク活動) (1) 通年活動 ① ネット数：14支部、336ネット ② 中心者会議：31回開催 ③ 協力者会議：467回開催 ※詳細はP34～35参照 (2) 除雪活動 ① 対象世帯数：590世帯(ネット対象者と重複有) ② 協力者数：714名(ネット対象者と重複有) ③ 活動回数：7,334回(ネット対象者と重複有)	小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。 また、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増加している中、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域で除雪活動を行いました。 なお、北上市が実施している地域除排雪制度について、北上市と連携し改善を図りながら地域の除雪体制の支援を行いました。 協力者の高齢化や不足している地区があることから、特に除雪活動については、中高校生の協力の仕組みづくりなど新たな担い手の確保について検討します。

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 コミュニティソーシャルワーカー(CSW)活動事業 ① 配置人数：4名(兼務) ② 有資格者数：10名 ③ 相談件数：99件(生活環境、生活困窮、除雪等) ④ 訪問件数：51件(個別ケース対応) ⑤ 訪問活動：73回(支部、事業所等) ⑥ ケース検討会：27回 ⑦ CSW会議：9回 ⑧ その他：113回(出前講座対応、研修受講等)	定期的にCSW会議を開催し、ケース検討や対応の進捗状況を確認・情報共有するとともに、関係機関の会議への出席や各種団体へのアウトリーチ活動により、地域における福祉課題等を情報収集しました。 また、生活支援コーディネーターやひきこもり相談支援員、暮らしの自立支援センターきたかみ職員等と連携し、課題を抱えた世帯への相談支援活動を行いました。 今後も、小地域ネットワーク活動の会議等に参加するなど積極的にアウトリーチ活動を行い、地域課題の把握や掘り起こし、解決を図ります。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 生活支援コーディネーター活動事業 【市委託事業】 ① 配置人数：1名 ② 有資格者数：3名 ③ 相談件数：19件(除雪、生活課題等) ④ 訪問件数：11件(個別ケース対応) ⑤ 訪問活動：30回(支部、事業所等) ⑥ ケース検討会：9回 ⑦ SC会議：12回 ⑧ その他の活動：42回(養成講座、研修等)	第1層コーディネーター(北上市、社協)と第2層コーディネーター(地域包括支援センター)の定例会議に出席し、活動状況や課題等を協議し情報共有を行ったほか、コーディネーター同士の連携を図りながらアウトリーチ活動を行い、新たな地域資源の発掘や立上げ支援を行いました。 今後も、地域課題の抽出と地域の福祉意識の向上を図るため、アウトリーチ活動を更に強化し、高齢者の生活支援ニーズの把握や、地域活動に取組む担い手の養成等を行います。 【指標】養成研修受講者3名

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 広域社協事業 (1) 令和4年度北上・和賀広域社協総会 ① 期 日：書面審議 ② 出席者：10名(うち北上社協5名) ③ 内 容： ・3年度事業報告及び収支決算について ・4年度事業計画及び収支予算について	3年度事業報告及び収支決算報告、4年度事業計画及び収支予算について、書面審議の方法により総会を行いました。
(2) 令和4年度北上・西和賀地区民生委員・児童委員研修会 ① 期 日：資料配付 ② 内 容： ・民生委員児童委員の役割と活動 ・ひとり親家庭支援の現状 ・ひとり親家庭のための支援ガイドブック ・消費者安全確保、消費者トラブルについて	民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南広域振興局花巻保健福祉環境センターと協働により研修会を開催しました。 なお、新型コロナウイルス感染症対策のため一堂に会しての研修会は中止し、資料の配付としました。
(3) 北上・和賀広域社協役職員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	役職員の資質向上及び北上市、西和賀町両社協の情報交換を目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
(4) 第36回北上・和賀地区ボランティアの集い ① 期 日：4年9月26日(月) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：34名(うち北上市18名) ④ 内 容： ・災害ボランティアセンター設置運営訓練	北上市及び西和賀町の地域や施設等でボランティア活動をしている方、又は始めようとしている方等を対象に、地域福祉等について相互に学習することを目的に開催しました。 今年度は「災害ボランティアセンター設置運営に係る研修訓練」を行い、ボランティアの受付業務やオリエンテーションの方法、資機材の確認等を行い有事に備えました。

基本目標 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- なんでも心配ごと相談センター及び暮らしの自立支援センターきたかみでは、生活福祉資金コロナ特例貸付の償還に係る相談など、生活に困窮している方々に対する相談に対応し支援を行いました。
- 生活困窮者自立相談支援機能強化事業及びひきこもりサポート事業では、アウトリーチ活動を強化し、支援が必要な方等の把握に努めるとともに、関係機関と連携して包括的に支援を行いました。
- 介護保険事業では、要支援認定を受けた方の介護保険から市総合事業への移行に伴う支援を行うとともに、新型コロナウイルスの感染によって、特に重症化しやすい要介護高齢者や障がい者に対して、万全の感染対策を講じながら支援しました。
- フードバンク運営事業は、企業等が独自で食料品を集める取組みを実施する等、寄付件数が増加し安定した運営につながっていると同時に、支え合う地域づくりの気持ちが広がっています。

(1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 なんでも心配ごと相談センター事業 ① なんでも心配ごと相談センター ・北上市総合福祉センター 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (司法書士相談) 毎月第2、4木曜日 13:00～16:00 ② 開設日数：243日 ③ 相談人数：638名（うち司法書士相談2回、2名） ④ 相談件数：延べ1,424件 ※詳細はP35参照	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹介を行いました。新型コロナウイルスによる減収に伴う特例貸付が令和4年9月末をもって終了したことから、コロナの影響による生計に係る相談は減少しましたが、エネルギー高騰や特例貸付の償還に係る相談が増加しており引き続き相談対応が必要です。 また、複雑な課題を抱えた相談が増えていることから、関係機関や専門職と更に連携を強化します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 相談員スキルアップ事業 ① 開催回数：5回 ② 内容： ・たすけあい資金及びフードバンク運営事業について ・住居確保給付金について ・相談支援システムについて ・不登校ひきこもりに関する相談対応について ③ 参加人数：延べ50名	相談員の資質向上を図るため、内部研修を実施し、相談員として必要な知識を学ぶことができました。 複雑な課題を抱えた相談者等に対して適切な相談対応ができるよう、継続的に研修を実施し資質向上に努めます。 【指標】内部研修会 年3回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 トータルガイドブック作成事業 北上市内の福祉サービス等を集約した冊子を作成しています。	あらゆる相談に対して適切な対応や専門機関への橋渡しを行うため、北上市内の民間も含めた関連サービス(フォーマル・インフォーマルサービス)をまとめた冊子について、既存の情報を更新し関係機関等へ配布しました。 冊子での情報更新は随時行うことが難しいため、ホームページ掲載版を定期的に更新しました。 【指標】作成・配布

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 ひきこもりサポート事業【市委託事業】 ① ひきこもり相談支援員 1 名 ② 相談窓口の設置 ・新規相談者数：30名 ・継続相談者数：30名 ・相談内容：不登校、就労、生活困窮、家族関係など ・対応件数：延べ395回 ・ピアサポーター登録者数：2名 ③ 市内子ども食堂運営団体との情報交換 ・期 日：4年6月9日(木) 4年10月14日(金) ・会 場：北上市総合福祉センター 古民家Caféほっこり ・参加団体 不登校・ひきこもり支援団体3団体 子ども食堂運営団体4団体 北上市障がい福祉課 北上市社会福祉協議会 ・内 容 各団体の活動内容及び活動状況紹介 各団体の実施予定イベントや行事等 市内のひきこもり支援等に係る一覧表の作成について ④ 北上市社会福祉協議会合同研修会 ・期 日：5年2月22日(金) ・会 場：さくらホール(大ホール) ・参加者：360名 ・講 演： 演題：「『不登校・ひきこもり』について考えてほしいこと～当事者経験や相談支援の現場から～」	ひきこもりに特化した相談窓口を設置し、当事者や家族、関係機関からの相談に応じ、助言や情報提供を行いました。 また、市内の不登校・ひきこもり支援団体及び子ども食堂運営団体との情報共有の場を作り、相互理解を図るとともに、連携体制ネットワークの強化を図りました。 不登校・ひきこもり支援の周知啓発として、講演会を開催し、市民や関係機関の方に広く理解をいただくことができました。 課題が複雑化している世帯への支援やSOSを出せない当事者など相談まで至らない方に対するアプローチの方法を検討・研究します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
講師：ヒューマン・スタジオ 代表 丸山 康彦 氏 ・トークセッション： 登壇者：ヒューマン・スタジオ 代表 丸山 康彦 氏 NPO法人ワーカーズユープ 北上笑いのたね事業所 所長 後藤 誠子 氏 ・北上市内の取組みの紹介 ⑤ 北上市ひきこもりネットワーク協議会 ・協議会への参加：2回 ※詳細はP36参照	

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの開拓と既存サービスの随時見直し

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 日常生活自立支援事業・成年後見推進支援事業【県社協委託事業】 ① 専門員及び生活支援員数 ・専門員 2名、生活支援員 13名 ② 北上基幹社協管内生活支援員会議等 ・生活支援員会議 1回 ・管内関係機関連絡会議 1回 ③ 契約件数及び支援状況等 ・契約件数(今年度)：5件 ・契約件数(累計)：159件(支援中60件) ・専門員訪問回数：239回 ・支援員支援回数：711回 ※詳細はP36参照	金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福祉サービスを利用するために必要な手続き等を支援しました。なお、特に高齢の利用者が多いことから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して対応しました。 また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲載による普及啓発を行いました。 利用者に対して適切な支援を実施する上で、北上市が中核機関として設置した北上市権利擁護支援センターや医療機関・障がい者相談支援事業所等の関係機関との情報共有、連携強化を図ります。

④ 契約件数（市町別）

	令和5年3月末日 実利用者	契約件数
北上市	41	127
西和賀町	19	32
計	60	159

⑤ 契約件数（対象者別）

契約者 事 項	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	うち 生活保護
契約件数	98	36	23	2	159	
実利用者	26	20	14	0	60	14

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 車いす及びチャイルドシート貸出事業 (1) 車いす ① 利用者数：延べ68名 ② 保有台数：11台 (2) チャイルドシート ① 利用者数：16名 ② 保有台数：46台（うち寄付台数：31台） （今年度寄付：0台）	利用希望者に対して希望どおり貸出しを行うことができ、障がい者や高齢者、子育て世帯の社会参加や移動の一助となりました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】 ① 利用登録者数：32名 ② 配食日数：193日 ③ 提供食数：延べ2,520食 ④ 調理ボランティア人数：延べ679名 ⑤ 配送ボランティア人数：延べ987名 ※詳細はP36参照	在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯に対して、調理及び配送ボランティアの協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。 また、季節に応じた献立作成や行事食を実施するとともに、保育園給食との献立交換を通じて、園児と高齢者がお互いに食べることの楽しみと関心を高めました。新たなボランティア登録者もあり、安定した事業実施ができました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 北上おげんき発信事業 利用登録者数：12名 ※詳細はP37参照	見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話での安否確認による見守りを行い、不安の解消につなげました。 また、必要に応じて小地域ネットワーク活動による見守り体制を構築する等、利用者の生活状況にあわせた支援につなげました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 障がい者等生活支援事業【市委託事業】 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	視覚障がい者の自立生活を支援することを目的に料理教室を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 当事者団体等からニーズ聴取を行い、市と協議しながら内容の検討等を行います。 【指標】 参加者10名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 声及び点字広報作成事業【市委託事業】 ① 声の広報作成事業 ・朗読内容及び回数 広報きたかみ 12回 社協だより 4回 市議会だより 4回 敬愛園だより 12回	広報きたかみや社協だより等の掲載内容を声の広報（CDまたはカセットテープに録音）として作成し、視覚障がい者に情報提供しました。 また、録音した声の広報をボランティア会員内で確認するとともに、岩手県視聴覚障がい者センター主催の研修会に参加し、音読の速さや発音等

事業名、内容及び実績	成果や課題等
ふれあい119 2回 物故者 12回 月刊さくらホール 12回 ・総発送数：延べ510回 ・利用者数：18名、3施設 ・朗読団体：サークルのぎく 12名 サークルせきれい 14名	の技術の向上に努めました。
② 点字広報作成事業 ・点訳内容及び回数 広報きたかみ 12回 ・総発送部数：24部 ・利用者数：2名 ・点字作成団体：北上点訳の会 19名	広報きたかみを点訳し、点字広報として視覚障がい者に情報提供しました。 また、定期的に勉強会を開催し、ボランティア会員同士の交流を図るとともに、点訳ミスの有無等について確認し、技術の向上に努めました。
(3) 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	声の広報・点字広報利用者と音声訳・点訳ボランティアが一堂に会し、情報交換や意見交換・交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 居宅介護支援事業 契約者数：50名 ※詳細はP37参照	要介護者の心身の特性を踏まえ、個人の保有能力、介護者の介護力等の評価等を行いながら、介護支援計画を作成するとともに、その都度必要なサービスの見直しを行いました。また、当協議会の特性を活かし連携を図りながら、困難ケースについても対応・支援を行いました。 引き続き、きたかみ型地域包括ケアビジョンの方針に沿いながら、サービス事業者等と更に連携を図り、利用者の在宅生活等を支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
8 障がい者相談支援事業 契約者数：31名 ※詳細はP37参照	障がい者や保護者、介護者等の相談に応じ、利用者が希望する生活を実現するため、必要なサービスの情報提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がいの特性に沿ったサービス等利用計画を作成しました。 引き続き、障がい者が自立した生活を送ることができるよう、医療機関や障がい福祉サービス事業者等と連携し、北上市障がい者プランに沿った事業を実施するとともに、高齢障がい者が介護保険制度へのスムーズな移行ができ、切れ目なくサービスが利用できるよう支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
9 訪問介護事業 (1) 訪問介護事業（介護保険） ① 契約者数：20名 ② 利用者数：延べ239名 ③ 派遣回数：2,185回 ※詳細はP38参照	要介護者が自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者に関わるケアマネジャー、地域包括支援センター、医師及び訪問看護師等の他職種・他事業所との連携を図り、自立した在宅生活が継続できるよう支援しました。 なお、高齢化の進行によりサービス量の増加が見込まれる中で、全国的にも介護人材が慢性的に不足となっており、当事業所としても訪問介護員の増員・採用が困難なため、募集方法の見直しや検討を行います。 【指標】継続実施
(2) 障害者訪問介護事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：26名 ② 利用者数：延べ275名 ③ 派遣回数：3,465回 ④ 同行援護従事者養成研修（一般課程） ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ※詳細はP38参照	障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 なお、視覚障がい者に対する外出等の移動支援の充実を図るため、同行援護従業者養成研修を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
10 障害者等移動支援事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：8名 ② 利用者数：延べ29名 ③ 派遣回数：41回（買物、趣味活動等） ※詳細はP38参照	障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援しました。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いイベントや行事等の中止、また、外出を自粛する利用者もおり、派遣回数の低下が続いています。 【指標】継続実施

事業名内容及び実績	成果や課題等
11 成年後見利用支援事業 受任者数：1名（保佐人1名）	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産管理について不利益を被ることがないように、当協議会が成年後見人として、受任者の生活を支援しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
12 訪問理美容事業 （ふれあいのまちづくり事業）	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、

事業名、内容及び実績	成果や課題等
① 利用者実数：29名 ② 利用回数：39回（理容店36回、美容店3回）	自宅を訪問し理容・美容（整髪）を行いました。 利用回数が減少傾向にあることから、事業を必要とする方が利用できるよう、社協だよりや支部活動、ケアマネジャー等を通じて更に周知を行い、利用の増進を図ります。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 住まいの片づけ応援事業 ① 相談件数：6件 ② 訪問件数：3件 ③ 打合会議：1回 ④ 実施件数：1件 ・期 日：4年8月17日（水） ・活動人数：9名 ・連携機関：民生委員児童委員、ケアマネジャー、地域包括支援センター	自宅又は敷地内にごみが放置され、生活に支障がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築しながら、地域で安心して生活することができるよう生活環境の改善を支援しています。 相談のあった世帯への訪問調査、本人や親族、地域支援者との協議等を踏まえ、1世帯の片付けを支援しました。 なお、清掃活動に至らないケースもありましたが、清掃業者へのつなぎや定期的な訪問活動を継続しています。 【指標】 随時実施

(3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】 ① 開設行政区：125行政区 ② 開設ふれデイ箇所：142箇所 ③ 実施回数：延べ958回 ④ 利用者数：延べ9,899名（参加率13.3%） ⑤ ふれデイ協力者数：延べ4,838名 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、4月～5月は中止。6月から順次再開。 ※詳細はP39参照	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動（趣味活動、レクリエーション活動等）を実施し、高齢者の生きがいがづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図りました。 コロナ禍における国の対応の見直し・変更にあわせて、円滑な事業実施ができるよう市と連携して「新型コロナウイルス感染防止に配慮したふれあいデイサービスの運営ガイドライン」を改訂し、地域が少しでも不安を感じることもないよう支援を行いました。今後は、広い世代の参加による地域づくりの場としての活用を検討します。 【指標】 参加率35%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 障害者地域活動支援センター事業【障害者総合支援法】 ① 創作活動及び機能訓練：6教室 ② 契約者数：43名 ③ 開催回数：75回 ④ 利用者数：延べ358名 ※詳細はP39参照	障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。 【指標】 利用登録者数50名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 障がい者リフレッシュ事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	心身に障がいを持つ方を対象に、仲間とのふれあいや親睦、社会参加の促進や生きがいを高めることを目的に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 行事開催 年1回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 子育て支援事業 (1) 子育てサロン ① 開催回数：7回【毎月1回(第3木曜日、10時から正午)】 ② 会場：北上市総合福祉センター ③ 参加者数：延べ103名 ④ ボランティア活動人数：延べ31名 (2) 子育て用品お譲り会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ※詳細はP39参照	子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、子育ての不安や悩みを軽減しました。 なお、子育てサロンの一部と子育て用品お譲り会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 サロン開催 月1回 子育て用品譲渡会開催 年1回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 ひとり親世帯支援事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	ひとり親世帯(母子・父子家庭等)を対象に、行事の開催を通じて親子のふれあいやひとり親家庭相互の交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 行事实施 年1回

内容及び実績	成果や課題等
6 出会いの場づくり事業 (1) 県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症対策のため欠席	県南広域圏において結婚・出産・子育てを支援している団体間の情報交換・意見交換を行う連絡会議に出席予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため出席を見合わせ、当協議会の取組みを情報提供しました。
(2) 婚活イベントの開催 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	結婚活動の支援として男女の出会いの場を提供することを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 イベント実施 年1回 各団体との意見交換会

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援、子どもの学習支援、自立相談支援機能強化) 【市委託事業】 ① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置主任相談支援員1名、相談支援員兼就労支援員3名、学習相談支援員1名、アウトリーチ相談支援員1名 ② 相談者実数：294名 ③ 相談申込（同意）者数：65名 ④ プラン策定者数：36名（再プラン3名含） ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細はP40参照	年齢や属性に関わらず広く相談に対応し、個別のケースに応じて包括的・継続的な支援を行いました。また、アウトリーチ活動により、支援を必要とする方の把握に努めました。 生活福祉資金コロナ特例貸付が終了し、資金の償還等に係る相談や物価高騰による生活困窮の相談が増加しましたが、関係機関と連携しながら相談対応にあたることができました。 複雑かつ多くの課題を抱えた世帯からの相談や長期にわたり継続的な支援が必要な世帯が増加していることから、今まで以上に相談体制や関係機関との連携・強化を行います。
西和賀町生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援) 【県委託事業】 ① 相談支援員1名 ② 相談者実数：32名 ③ 相談申込（同意）者数：0名 ④ プラン策定者数：0名 ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細はP41参照	西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。 なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。 今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ活動を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 フードバンク運営事業 ① 寄付件数：309件（うちフードポスト104件） ② 提供件数：332件（うちフードパントリー33件） ※詳細はP42参照 2-1 物品貸出 ① 貸出件数：11件 ② 貸出内容：携帯電話、カセットコンロ、電気ポット、電気ストーブ等	当協議会相談者のうち、緊急に食料支援が必要な生活困窮者等の世帯に対して支援を行い、食の確保や自立に向けた意欲の向上を図ることができました。 また、ひとり親世帯等を対象としたフードパントリーの実施、市内で活動している子ども食堂への食料提供等を行いました。 事業の認知度が向上しており、企業や団体等からの寄付が増加しています。 携帯電話やライフラインが一時的に停止している相談者に対して、必要物品を貸出しし、就労支援及び生活支援を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 子どもの学習支援事業（まるまる学び塾） 【市委託事業】 ① 開催回数：45回 ・毎月第1及び第3木曜日17:00～19:00 ・毎月第2及び第4土曜日10:30～14:30 ・夏休み及び冬休み各5日10:30～14:30 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 登録者数：24名（小学生14名、中学生10名） ③ 参加者数：延べ250名 ④ ボランティア活動人数：延べ255名 ⑤ それぞれの進路相談会 ・期 日：4年10月29日（土） ・会 場：北上市生涯学習センター ・参加者：26名 （生徒・保護者12名、講師など関係者14名） ※詳細はP42参照	家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が十分でない子どもたちを対象に、学習支援ボランティアの協力を得て学習支援と学習の場（居場所づくり）の提供を行いました。 なお、不登校の児童生徒に対しては、ひきこもり相談支援員と情報交換を行いながら、世帯訪問や支援を行いました。 また、子どもの学習支援事業の開催日にあわせて、進学・就職など様々な進路があることを紹介し進路選択の一助となるよう、進路相談会を実施しました。 【指標】定期開催実施 週1回 長期休業中実施 年2回 利用登録者数 50名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 地域まるまる食堂（子ども食堂）事業 ① 開催回数：11回 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 参加者数：延べ136名 （小学生56名、中学生25名、保護者等23名、一般32名 ボランティア110名） ④ 内 容：あそびの時間、まなびの時間、 食堂開設 ⑤ 市内子ども食堂数：5カ所 ※詳細はP43参照	学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」（子ども食堂）を実施しました。また、子ども食堂の開設に係る相談にも随時対応しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、一堂型の食事を弁当の配付に変更するとともに、地域の方々には参加を自粛していただくなど対策を講じながら実施しました。 【指標】月1回実施 地域実施箇所数 4カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 たすけあい資金貸付事業 ① 貸付状況：41件、 905,000円 ② 償還状況：53件、 407,389円 ③ 貸付残高：79件、1,901,611円 ※詳細はP43参照	低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子で貸付けしました。 生活困窮者自立支援事業と連携を図るとともに、フードバンク運営事業とあわせ迅速かつ効果的に対応しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 生活福祉資金貸付事業 (実施主体：岩手県社協、相談窓口：当協議会) ① 貸付状況： 118件、42,463,000円 ※うちコロナ特例貸付 94件、27,870,000円 ② 償還状況：延べ4,171件、31,334,883円 ③ 貸付残高： 1,374件、577,506,564円 ※詳細はP44～47参照	低所得世帯等に対して、修学資金や生活費等の資金を低利子(一部無利子)で貸付けしました。 新型コロナウイルスに係る特例貸付については、早い借受人の方で令和5年1月から償還が始まりましたが、償還が困難な世帯については、償還免除や少額返済の申請について相談対応を行いました。 なお、資金借受世帯のうち自立支援が必要な世帯については、生活困窮者自立支援事業と連携しながら支援を行いました。

基本目標 4 暮らしやすい地域環境づくり

- 地域福祉活動応援事業では、地域福祉を推進する先進的な活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。
- 災害ボランティアセンター事業では、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」の実施により、センターの設置運営方法や関係機関との連携方法等について確認をし、職員の資質向上を図ることができました。

(1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 支え合いマップ作成事業 ① 作成済地区：23地区	地域で見守りが必要な要援護者と地域内の社会資源等との関わりが一目で分かるようマップの作成を支援しています。 今後も、マップを作成する利点や活用方法を周知するとともに、作成したマップの更新作業を支援します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 買物支援事業 市内の買物に係る事業者等の一覧作成	買物支援を行う事業者等の一覧を最新の情報に更新・整理するため、スーパーやコンビニエンスストア等を対象にアンケート調査を行いました。 最新の一覧を作成後、地域包括支援センター等の関係機関を通じて、必要とする方へ配付し活用につなげます。 また、社会福祉法人連絡会事業により試行的に買物支援事業に取り組むこととしていることから、当協議会も参画し、買物支援の手法等を検討・研究します。 【指標】 手法の検討

内容及び実績	成果や課題等
3 ふれあい移送サービス事業 ① 移送車両：3台 (車いす搭乗2台、回転シート1台) ② 利用登録者数：157名 ③ 利用人数：延べ275名 ④ 運転ボランティア人数：延べ272名 ⑤ 事務局対応：3回 ⑥ 介助ボランティア人数：延べ 0名 ⑦ 新規ボランティア登録人数： 0名 ※詳細はP48 参照	既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等に通院の移送サービスを提供し、生活支援を行いました。 今後も、サービスを必要とする方が利用できるよう周知を図るとともに、ボランティアの確保に努め、安定した事業運営を行います。 【指標】 充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 地域福祉活動応援事業 ① 助成団体：2団体（新規2団体） ・男だらけの育児caféいわて ・江釣子こども食堂 ひまわり食堂 ② 助成金額：186,000円	地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。 今年度は新たに設立した2団体に対して助成を行い、団体の安定した活動や運営を支援しました。 必要とする地域・団体等に活用いただけるよう更に広報やホームページ等で周知を行い、事業の認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を行います。 【指標】助成額300,000円

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 災害ボランティアセンター事業 ① 広域市町村ネットワーク連絡会議の実施 ・期 日：4年7月27日（水） ・会 場：北上市総合福祉センター ・出席者：19名 ・内 容：岩手県防災ボランティア活動推進指針について 県内の災害ボランティアセンターの状況について 近年の災害対応状況について 各機関・団体による災害対応の取組みについて 相互連携の必要性について 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の係る研修訓練の実施について 各機関・団体における災害対応の取組みについて ② 災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練の実施 ・期 日：4年9月26日（月） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：34名 ③ 公益社団法人北上青年会議所との災害時における協力体制に関する協定締結式 ・期 日：4年5月23日（月） ・会 場：北上市総合福祉センター ・出席者：10名	災害ボランティアセンターに係る平時及び災害時の役割分担、連携・協働の在り方を確認及び協議するとともに、平時から関係機関及び団体の「顔の見える関係」のネットワークを構築し、様々な取組みを円滑に行うことを目的に「広域市町村ネットワーク連絡会議」を開催しました。 また、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」を実施し、災害ボランティアセンターの設置から運営までの流れ、運営時の留意点等を共有し、関係機関との連携強化及び職員の資質向上を図りました。 なお、公益社団法人北上青年会議所と「災害時支援協定」を締結し、平時及び有事における協力体制の確認など相互の連携体制を構築しました。 【指標】設置・運営訓練実施 災害発生時の職員派遣

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 社協出前講座（病気及び障がい理解編） ① 派遣回数：8回 ・学童保育所：1回 ・小学校：6回 ② 参加人数：延べ486名 ③ 体験用具の貸出し：3回 ・小学校：3回	北上市出前講座のメニューに病気及び障がい理解編の講座を登録し、学校や団体等からの要請に対応しています。 小学生には、障がいを持つ方への接し方等について講義を行い、障がい者に対する理解を深めることができました。 【指標】派遣25回、参加人数延1,100名

5 地域福祉を推進するための基盤づくりの強化

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 北上市社会福祉法人連絡会に参画し、地域における公益的な取組みに向けた協議を進めました。
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働し、また、協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、事業の推進や運営に活用しました。
- 第4次北上市地域福祉活動計画における、令和4年度の指標の達成に向けて事業活動を実施しました。

(1) 社会福祉協議会の運営

① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：4年4月18日（月） 出席者 11名（役員4名、職員7名）	第7回：4年10月17日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第2回：4年5月16日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第8回：4年11月15日（火） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第3回：4年6月15日（水） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第9回：4年12月15日（木） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第4回：4年7月15日（金） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第10回：5年1月16日（月） 出席者 9名（役員3名、職員6名）
第5回：4年8月19日（金） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第11回：5年2月15日（水） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第6回：4年9月15日（木） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第12回：5年3月6日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）

② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・4年5月26日（木） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 令和3年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和3年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第2回 ・4年8月25日（木） ・出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の育児休業及び育児短時間勤務規程の一部改正について (2) 第31回北上市民福祉大会被表彰者の決定について (3) 令和4年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について
第3回 ・4年10月27日（木） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

開催期日	議題及び協議事項
第4回 ・ 4年12月16日（金） ・ 出席者 理事8名 監事2名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会経理規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会福祉サービス事業に関する苦情解決第三者委員の選任について
第5回 ・ 5年3月16日（木） ・ 出席者 理事10名 監事3名	(1) 令和4年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (2) 令和5年度北上市社会福祉協議会事業計画について (3) 令和5年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

③ 評議員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 4年6月16日（木） ・ 出席者 評議員17名 理 事4名 監 事3名	(1) 令和3年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和3年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会理事の選任について
第2回 ・ 5年3月23日（木） ・ 出席者 評議員18名 理 事4名 監 事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の介護休業及び介護短時間勤務規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会経理規程の一部改正について (4) 令和4年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (5) 令和5年度北上市社会福祉協議会事業計画について (6) 令和5年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について (7) 北上市社会福祉協議会理事の選任について

④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回 ・ 4年5月19日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和4年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について (2) 令和3年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算について
第2回 ・ 4年8月25日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和4年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第3回 ・ 4年11月24日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和4年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第4回 ・ 5年2月22日（水） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和4年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

⑤ 市の監査状況

開催期日	議題及び協議事項
財政援助団体監査 ・ 4年10月11日（火） ・ 出席者 理事2名	(1) 地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体監査
社会福祉法人指導監査 ・ 4年11月11日（金） ・ 出席者 理事2名 監事3名	(1) 社会福祉法第56条第1項の規定に基づく指導監査

⑥ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 4年5月30日（月） ・ 出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について
第2回 ・ 4年11月7日（月） ・ 出席者 委員4名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

⑦ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：4年4月18日（月）	出席者 36名（支部長14名、役職員22名）
第2回：4年5月16日（月）	出席者 35名（支部長13名、役職員22名）
第3回：4年10月24日（月）	出席者 28名（支部長14名、役職員14名）
第4回：5年2月22日（水）	出席者 28名（支部長13名、代理1名、役職員14名）

⑧ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数			
第1回：4年4月18日（月）	新型コロナウイルス感染症対策により中止	第7回：4年10月17日（月）	出席者 27名
第2回：4年5月16日（月）	新型コロナウイルス感染症対策により中止	第8回：4年11月15日（火）	出席者 28名
第3回：4年6月15日（水）	出席者 30名	第9回：4年12月15日（木）	出席者 26名
第4回：4年7月15日（金）	出席者 29名	第10回：5年1月16日（月）	出席者 29名
第5回：4年8月19日（金）	出席者 23名	第11回：5年2月15日（水）	出席者 23名
第6回：4年9月15日（木）	出席者 25名	第12回：5年3月6日（月）	出席者 26名

(2) 社協支部活動運営費の助成（単位：円）

支部名	支部運営費	福祉協力員活動費	小地域ネットワーク事業費		合 計
			ふれまち	住民グループ	
黒沢尻北	694,000	29,000	16,700	557,337	1,296,037
黒沢尻東	642,000	37,000	19,100	749,014	1,447,114
黒沢尻西	561,000	33,000	27,400	458,295	1,079,695
立 花	234,000	9,000	17,000	119,699	379,699
飯 豊	672,000	31,000	34,150	450,062	1,187,212
二 子	305,000	13,000	6,000	129,612	453,612
更 木	169,000	13,000	8,900	154,738	345,638
黒 岩	160,000	8,000	19,250	98,737	285,987
口 内	196,000	17,000	8,600	71,581	293,181
稲 瀬	151,000	6,000	2,000	184,627	343,627
相 去	543,000	22,000	20,300	594,012	1,179,312
鬼 柳	376,000	16,000	21,800	200,721	614,521
江 釣 子	695,000	32,000	6,000	406,972	1,139,972
和 賀	875,000	69,000	42,000	1,046,743	2,032,743
合 計	6,273,000	335,000	249,200	5,222,150	12,078,350

(3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
① 北上市総合福祉センター ・利用件数：1,027 件 ・利用者数：16,415 名 ② 和賀町総合福祉センター ・利用件数：320 件 ・利用者数：3,663 名 ※詳細はP48～49 参照	北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉活動の拠点として貸出ししています。また、ボランティア団体や趣味の会等の活動の場としても多様に利用されています。 施設管理にあたっては、適正な管理運営や経費の節減に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、感染防止に努めました。 両センターとも経年による建物の修繕及び改修について、費用の確保等の検討が必要です。

(4) 社会福祉法人連絡会の組織化

内容及び実績	成果や課題等
1 総 会 ① 期 日：書面審議 ② 内 容： ・3年度事業報告及び収支決算について ・会員法人の加入について ・会費について ・4年度事業計画及び収支予算について 2 幹事会 ① 期 日：5年3月8日（水） ② 会 場：北上市総合福祉センター	多様化及び複雑化する地域課題や社会福祉に関するニーズに対応するため、各法人の取組みや専門性を活かしながら、法人間の連携や協働体制の強化を図り、地域における公益的な取組みを実施し、市民の福祉向上や地域福祉を更に推進することを目的に北上市社会福祉法人連絡会が組織化され、当協議会も参画し事務局を担っています。 今年度は新たに2つの法人が加入し、市内19法人により組織化されています。 幹事会では、各分科会の取組状況を確認・共有

内容及び実績	成果や課題等
③ 参加者：市内社会福祉法人17法人、27名 ④ 内 容： ・ 4年度事業報告及び収支決算見込について ・ 5年度事業計画及び収支予算について ・ 買物支援事業について ・ 役員の選任について ・ 5年度総会日程について 3 監事会 ① 期 日：4年4月11日(月) ② 内 容： ・ 3年度事業報告及び収支決算 4 分科会 (1) 地域課題研究分科会 ① 会議開催回数：3回 ② 内 容： 買物支援事業実施に向けた研究 ・ 地区リーダー打合せ会 ・ 試行実施(案)について分科会員から意見聴取 (2) 人材育成・サービス向上分科会 ① 会議開催回数：2回 ② 内 容： 研修会開催に向けた内容等の検討 ・ 開催方法及び内容の検討 ・ 研修内容検討に係るアンケート調査の実施 (3) 総務及び広報活動分科会 ① 会議開催回数：2回 ② 内 容： 広報誌の発行 ・ 名称：きたかみ福祉のオーケストラ ・ 発行日：4年9月22日 ・ 発行部数：38,500部 ホームページ開設の検討 5年度事業計画及び収支予算の検討 5 その他 (1) 社会福祉法人連携の取組みに係る視察研修の受入れ ① 期 日：4年6月8日(水) ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 来所者：奥州市社会福祉協議会3名 ④ 内 容： 北上市社会福祉法人連絡会設立までの	し、今後の方向性や事業計画等を協議しました。 地域課題研究分科会では、深刻な地域課題の1つである買物支援の取組みに着手し、各法人から意見を聴取し、来年度の試行実施に向けて素案を作成しました。 また、人材育成・サービス向上分科会では、各法人から希望する研修内容等についてアンケート調査を実施しました。 総務及び広報活動分科会では、広報紙を作成し、市内全戸への配布により連絡会の活動について周知を図りました。

内容及び実績	成果や課題等
経過や取組状況、今後の方向性について (2) 奥州市における社協と社会福祉法人の連携に向けた職員研修会への講師派遣 ① 期 日：4年7月14日(木) ② 会 場：奥州市総合福祉センター ③ 内 容： 社協と社会福祉法人・社会福祉施設の連携について～北上市の取組みについて～	

(5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費：15,953,000 円（詳細はP50 参照） ② 賛助会費： 606,000 円（303 件） ③ 団体会費： 93,000 円（31 件） ④ 特別会費：1,495,000 円（146 件） 合計 18,147,000 円	市民、福祉団体、企業等に会費の協力をいただくことにより地域福祉活動に参加していただいています。 当会費は地域福祉向上を図るための貴重な財源であることから、引き続き会費の必要性を理解し協力していただけるよう啓蒙活動を行い、当協議会の認知度の向上を図り、会員の拡大に努めます。

(6) 福祉基金の管理状況等

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数
4年7月25日（月） 出席者 8名

② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
・福祉基金 寄付件数：2件 寄付金額：60,000 円 ・一般活動 寄付件数：31件 寄付金額：1,364,985 円（現金 1,302,815 円） （物品 62,170 円） ※詳細はP49 参照	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は学習支援事業や地域まるまる食堂に係る運営費など地域福祉活動に役立てました。 また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の増進に役立てています。

助成先（団体名）	助成内容	助成金交付 決定額(円)	助成額(円)
北上市母子寡婦福祉協会	バルーンアートに挑戦しよう	15,000	15,000
北上市手をつなぐ育成会	障がい者健康増進事業	40,000	40,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000	10,000
傾聴ボランティアきたかみ	傾聴活動スキルアップ及び広報事業	50,000	50,000
北上市ボランティア連絡協議会	サークル交流研修会事業	43,000	43,000
岩手県聴覚障害者協会北上支部	聴覚障がい者社会参加促進事業	20,000	20,000

助成先（団体名）	助成内容	助成金交付 決定額(円)	助成額(円)
きたかみ子育てネット	突撃隣のパパご飯事業	46,000	46,000
北上手話サークル虹の会	他市手話サークルとの交流会事業	10,000	10,000
手話サークル手のひら	はじめて手話教室・ろうあ者との研修 交流事業	40,000	40,000
合計（助成交付決定 9 団体、助成 9 団体）		274,000	274,000

③ 福祉基金積立額等（単位：円）

	3 年度末 現在高	4 年度 積立額	4 年度末 現在高	4 年度 利金額	備考
一般福祉基金	184,960,934	60,000	185,020,934	2,940,501	
地域福祉基金	75,481,309	0	75,481,309	1,173,846	うち福祉団体に 274,000 円を助成
合計	260,442,243	60,000	260,502,243	4,078,347	

(7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細は P51 参照

① 一般募金の実績（単位：円）

目標額	12,258,000
実績額	11,986,262
達成率	97.8%

実績額内訳

戸別募金	7,925,536
法人募金	2,630,939
街頭募金	266,347
学校募金	419,941
職域募金	512,943
その他	230,556

② 歳末たすけあい募金の実績（単位：円）

目標額	3,177,000
実績額	3,267,565
達成率	102.9%

実績額内訳

戸別募金	2,267,005
法人募金	321,000
その他	679,560

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績（単位：円）

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	5	30,000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	87	522,000
支援を必要とする世帯	182	1,092,000
合計	274	1,644,000